

豊見城道路の全線暫定供用により、地域の生活環境が向上しました。

豊見城道路が搬送経路となり、救急医療活動における患者への負荷が軽減、安静搬送が実現

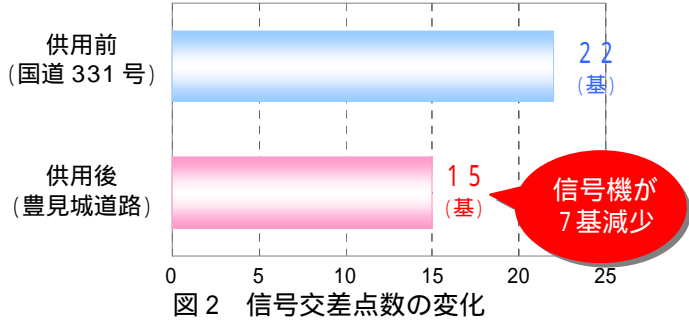


図 2 信号交差点数の変化

- ・脳疾患の場合、カーブでの横揺れや信号停止による縦揺れは、容態悪化の原因となります。
- ・豊見城道路は、それらが改善し患者への負担も減少しました。

【糸満消防署ヒアリング結果】



図 1 生活環境の変化

国道 331 号や市道の交通事故が減少し、歩行者も安全性の向上を実感



各年の 4~10 月データを集計した結果
資料：沖縄県警察本部交通部事故データ

図 3 事故件数の変化

- ・小学校保護者アンケート調査では、『国道や市道等の交通量が減った』などの理由から、『通学時の安全性が向上した』という意見が約 3 割あげられました。
 - ・また、安全性が向上した具体的な箇所の意見もありました。
- 【小学校保護者アンケート調査結果】



国道 331 号でバスの遅延が減少し、ドライバーの安全な運転に寄与

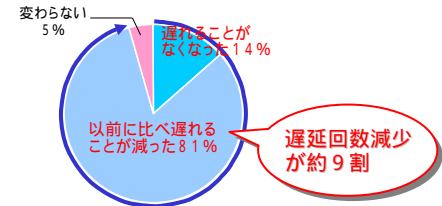


図 4 バス遅延回数の変化

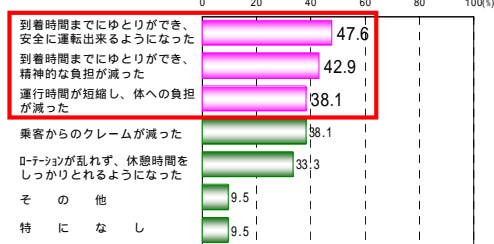


図 5 遅延減少による影響

資料：バスドライバーアンケート調査結果 (H19.12 実施)

豊見城道路へと交通量が転換し、地域経済の活性化に寄与しました。



図6 交通状況の変化

豊見城道路の交通量が約4割増加し、国道331号では約1割減少

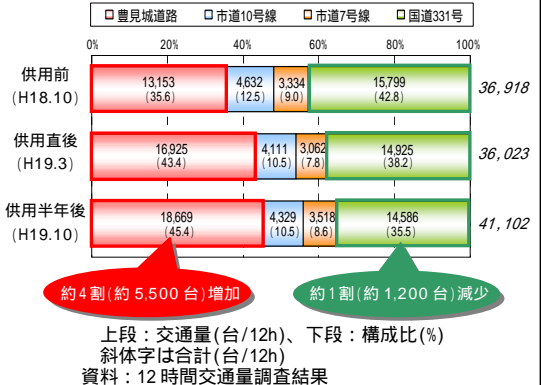


図7 交通分担の変化(断面)

交通量が減少した国道331号では、兼城地区や西崎地区で渋滞が緩和(タピーク;16:00~19:00)

豊見城道路を利用することで、那覇空港~西崎工業団地間で所要時間が11分短縮

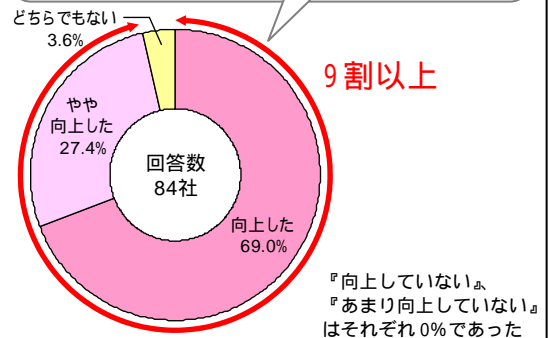


- 1) 平日 那覇空港 西崎工業団地(下り)の12時間の平均所要時間
 - 2) 所要時間の比較ルート
 供用前(H18.10): 国道331号経由のルート
 供用後(H19.10): 豊見城道路経由のルート
- 資料: グローブ調査結果

図8 所要時間の変化

西崎地区~那覇市方面の所要時間が短縮し、豊見城道路の利便性・快適性の向上を実感

那覇市方面との所要時間が短縮したこともあり、9割以上の企業が利便性・快適性が向上したと回答

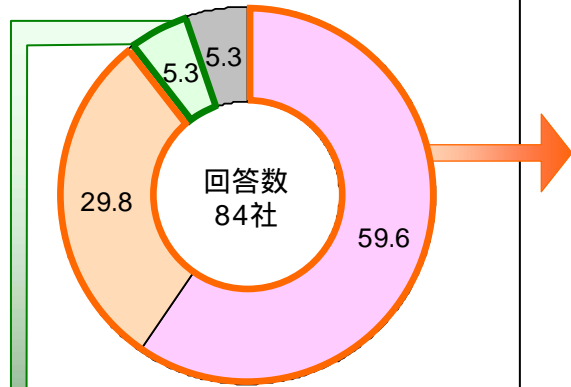


資料：企業アンケート調査結果(H19.10実施)

図9 利便性・快適性の変化

西崎地区の企業は、『荷物の輸送・配送時間が短縮等』や『移動経路が増え、営業活動の利便性が向上』、『集客の向上』を実感

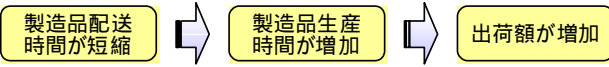
- 荷物の輸送・配送時間が短縮、また荷痛みが減った
- 移動する際の経路が増え、営業活動の利便性がよかった
- 豊崎地区につながるにより集客に効果があった
- その他



資料：企業アンケート調査結果(H19.10実施)
図10 経営面での変化

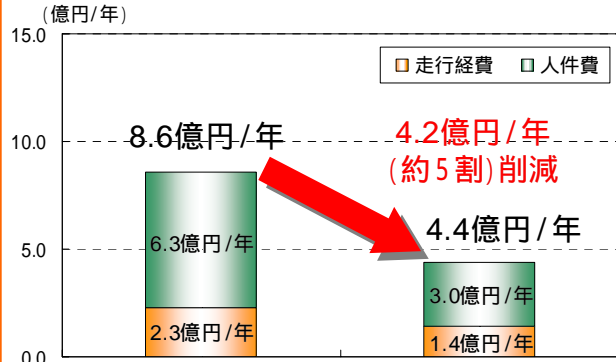
生産時間が増加し、出荷額も増加

家具の配達時間が短縮し、家具を製作する時間が増え、製作に費やす時間が増えたことで、生産量が増加し、出荷額が増加しました。【A社】



資料：企業ヒアリング 調査結果(H19.9～12実施)

輸送時間が短縮され、輸送コストが約5割削減



資料：12時間交通量調査結果、プーロブ調査結果、H17道路交通センサ、トラックの運送業の実態((社)全日本トラック協会)より試算した結果

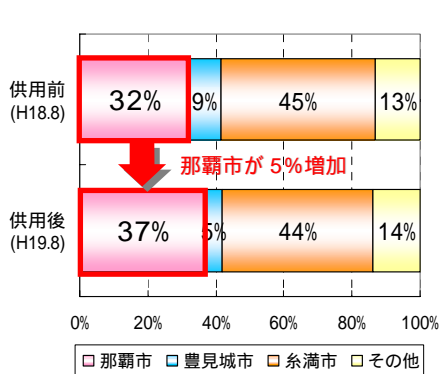
図11 輸送コストの変化

営業活動が効率化

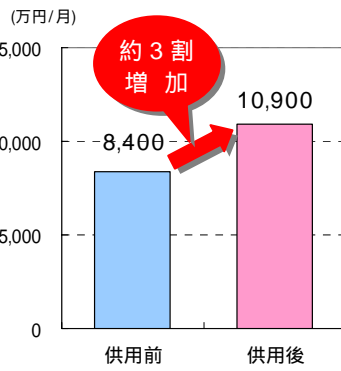
1回の外出で3件しか回ることができなかった取引先も5件回ることが出来るようになり、営業の効率が上がりました。【B社】

資料：企業ヒアリング 調査結果(H19.9～12実施)

那覇市からの集客が増加し、売上が約3割増加



資料：JAおきなわ糸満支店
図12 来訪者居住地の変化



資料：JAおきなわ糸満支店
図13 売上の変化

豊見城道路の全線暫定供用により、土日に那覇方面からの来客数が増加し、売上が3割増加しました【JAおきなわ糸満支店】



資料：企業ヒアリング 調査結果(H19.9～12実施)

全線暫定供用により、西崎地区の売上が約2割(約5千万円/月)増加

西崎地区8事業所合計の増加額であり、全事業所の増加額ではない

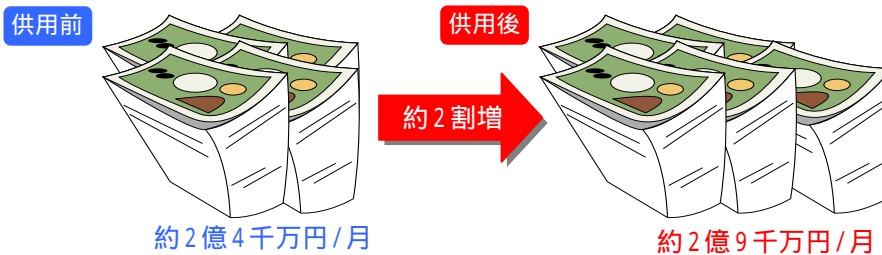


図14 西崎地区事業所の売上の変化

資料：企業ヒアリング 調査結果(H19.9～12実施)

西崎地区の8事業所で約5千万円/月増加

